

申請地域の概要

(1) 申請情報

申請地域名	〇〇県△△市
申請者の所属	△△市役所 □□課
市町村との協力体制【申請者が民間主体の場合記載】	
担当課名	
協力状況	

(2) 基本情報

人口	53,000 人(2025 年 4 月現在)
総土地面積	6,432ha
森林面積（森林率）	4,300ha(67%)
素材生産量（2023 年実績）	15,000 m ³ /年
地域概要	
 △△市は、〇〇県の西部に位置し、基幹産業として××が有名な地域である。市の西部には△△山を有し自然豊かな地域で、観光地として有名な〇〇神社などもある。特産品として◎◎もあり、、、 また、△△市では、「再生エネルギー活用推進プラン」を令和 2 年 6 月に策定し、木質バイオマスを含む様々な再生エネルギーの導入を促進するために、、、、、、、、 している。	

(3) 事業概要

事業実施の目的	
当市内において、地域一体となった取り組みによる「自然と共生したまちづくり」をスローガンとして、地域内での木質バイオマスの循環利用の推進や×××の形成を目的とする。	
申請地域での地域内エコシステムの将来像（ビジョン）	
▲■温泉をはじめとした、市内の施設にチップボイラーを導入することで、現在発電用として市外へ流出しているチップを市内で利用し、エネルギーの地産地消を図る。また、地域住民参加型の薪割りを実施し、薪利用による地域活性化を目指す。	
本事業が該当する上位計画・ビジョン等【申請者が地方公共団体の場合記載】	
計画・ビジョン名	△△市ビジョン（第 1 版） 再生エネルギー活用推進プラン
計画・ビジョン概要	△△市ビジョンは、△△市のまちづくりの上位計画であり、まちの将来像や施策の方針、様々な事業・取り組みを示すものである。 本ビジョンの内、「第 1 項 自然と共生するまち」では、脱炭素と森林整備の促進のため、「再生エネルギー活用推進プラン内」にて木質バイオマス利用を掲げており、……………である。

(4) 地域協議会の活動実績

協議会の目的		
△△市森の協議会は、本地域での木質バイオマスを含む原木・木材の利用を推進するため、令和 3 年度に設立した。メンバーは川上から川下までの関連事業者であり、年 3 回程度、協議を実施している。		
これまでの協議事項（実績） <u>（必要に応じて適宜追加）</u>		
実施年度	協議事項	
2021 年度	該当箇所（複数選択可）	川上 ・ 川中 ・ 川下
	木質バイオマスの利用に関する協議会（森の協議会）を設置した。	
2022 年度	該当箇所（複数選択可）	川上 ・ 川中 ・ 川下
	チップボイラーについての情報収集のため、〇〇県△△町のチップ製造拠点及び温浴施設に導入されているチップボイラーを視察した。	
2023 年度	該当箇所（複数選択可）	川上 ・ 川中 ・ 川下
	2021～2022 年度に実施した◎◎FS 事業（チップボイラー導入における試算）の結果をもとに協議を行った。結果、▲■温泉にチップボイラーを導入する方針が定まった。	
2024 年度	該当箇所（複数選択可）	川上 ・ 川中 ・ 川下
	2022 年度に実施した■FS 調査（林地残材の賦存量調査）の結果をもとに、林地残材の搬出システムについて協議を行った。結果、林地残材の搬出は、市民参加型で川上事業体と共同で進める方針となった。	

(5) 過年度 FS 調査実施概要 (必要に応じて適宜追加)

事業実施年度	2021 年 6 月-2022 年 3 月
調査実施機関	環境省
事業名	◎◎FS 事業
該当箇所（複数選択可）	川上 ・ 川中 ・ 川下

事業実施年度	2022 年 7 月-9 月
調査実施機関	市単費
事業名	■■FS 調査
該当箇所（複数選択可）	川上 ・ 川中 ・ 川下

(6) 実施項目

本地域での地域内エコシステム構築のゴール設定（大目標）		
【新規に導入する地域例】 ●●森林組合から林地残材を約●m³搬出し、燃料用材として利用することを想定している（令和●年度）。既存チップパー機を活用し、熱利用チップを製造する。 - 令和●年度に▲■温泉に、導入するチップボイラーの基本設計を開始する。 【水平展開・運用改善の地域例】 - 燃料用材を確保するため、新たに●●森林組合から燃料用材の調達を開始する（約●m³/年）。 - チップの品質改善（水分●%（w.b.）以下 ※湿量基準）を行い、令和●年度に供給を開始する。 - 令和●年度までに新たな施設へのチップボイラー導入計画を策定する。		
今年度の目標（小目標）		
①新たな燃料用材調達先の発掘、②燃料製造拠点の設定、③ボイラー導入の低コスト化の検討 ※原木等の乾燥の準備及びチップボイラー導入運用を考慮し、燃料製造拠点を早急に整備していく必要があるため、特に①と②の目標は急務と考えている。		
本事業での実施項目の想定（必要に応じて適宜追加）		
①	目標	①新たな燃料用材調達先の発掘
	目標の背景・現状の課題等	燃料用材の安定供給のため、現在合意を得ている事業体の他、市内・周辺地域の未利用材（支障木等）の発生状況や供給の可能性を把握する必要がある。
	実施項目	市内周辺地域の事業体に対するヒアリング調査を行う。
②	目標	②燃料製造拠点の設定
	目標の背景・現状の課題等	現在、チップボイラーの導入に向けチップ製造拠点の新たな設置を検討しているが、燃料製造拠点の運用体制についての検討があまり進んでいない。
	実施項目	燃料製造拠点に導入するチップパー機の選定のため、情報収集を行う。また、燃料品質規格に基づいたチップの製造のため、水分の低減方法を検討する。
③	目標	③ボイラー導入の低コスト化の検討
	目標の背景・現状の課題等	2021年6月-2022年3月に実施したFS調査にて▲■温泉にチップボイラーを導入することが決まった。導入には補助金の活用を検討しているが、建屋を含めると投資回収年数の増加が見込まれるため、導入時のコストを削減する必要がある。
	実施項目	協議会にて、チップボイラーを導入している先進地域の視察を行う。周辺設備も含めた低コスト化の方法や工夫についての知見を深め、本地域での導入の際の参考にする。

(7) 事業化までのロードマップ (令和 4 年度以前または令和 10 年度以降は必要に応じて適宜追加)

区分		事業実績		事業計画		
年度		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度 (今年度)	令和 8 年度	令和 9 年度
主な事業内容	川上	・林地残材賦存量調査を実施 (FS 調査)	・地域住民参加型の自伐講習会を実施	・新たな供給可能性の調査	・木の駅への供給実証試験 (継続)	・木の駅へ供給開始
	川中	・チップ製造体制の検討 (サプライチェーンの検討)	・チップ製造体制の検討	・水分の低減試験	・チップ製造・品質試験	・燃料製造体制の構築
	川下	・FS 調査	・▲■温泉での導入検討	・FS 調査結果の精査 ・ボイラーの選定	・補助事業の申請 ・基本設計・実施設計	・実施設計・着工

※申請者が民間団体の場合は、可能な範囲で記載してください。

(8) その他取り組み（過年度に実施した関連事業等）（必要に応じて適宜追加）

取り組み（事業）実施年度	2022 年 8 月-2023 年 2 月
採択機関と実施機関 （国補助、民間助成、単費等）	環境省所管 一般財団法人●●センターによる間接補助事業
取り組み（事業）名	SDGs◎◎促進事業
概要	
地域住民と連携した薪づくりを実施した。 将来的に、福祉との連携による薪づくりを想定しており、その為の情報を収集した。 取り組みにおいて、××の課題が明らかとなった。 今後は、▼▼の検討を進め、××の課題を解消する。 詳細は添付資料を参照。	